

表 3 R_F による出力測定結果

抵抗 R_F [Ω]	出力電圧 [V]	倍率 $\frac{V_2}{V_1}$
5k		
10k		
30k		

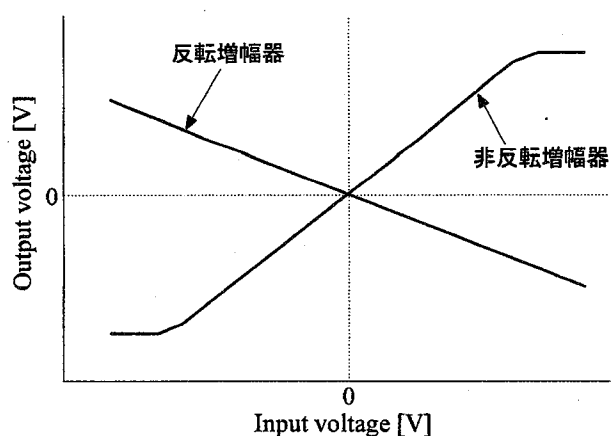


図 5 反転増幅器・非反転増幅器の入出力特性

4.1.3 積分器

- (1) 図 6 は積分器の原理図である。 $R_S = 10k\Omega$, $C_F = 0.022\mu F$ (抵抗値, 容量値はテスターで実際に測定し, 報告書にて報告すること) として, これを構成せよ。
- (2) V_1 に正弦波を入れ, オシロスコープで入力電圧 V_1 の大きさと周波数および出力電圧 V_2 の大きさと V_1 との位相を測定する。

★積分器の入出力波形を, 図 7 のようにグラフを描く。このとき, オシロスコープの VOLT/DIV (電圧感度), TIME/DIV (掃引時間) も記入すること。

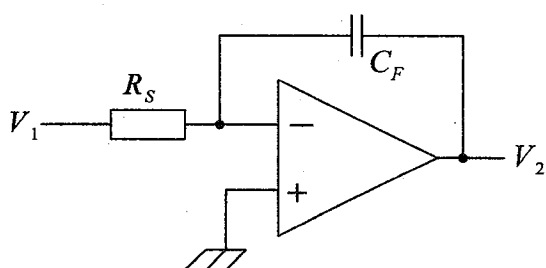


図 6 積分器の原理図

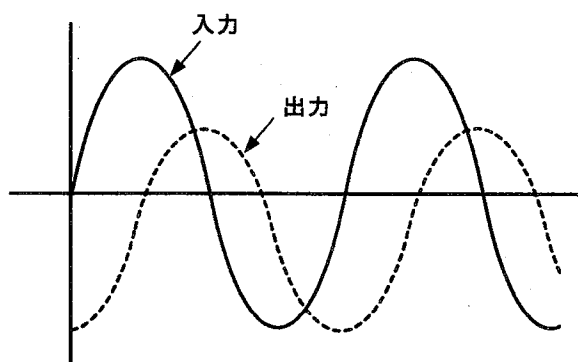


図 7 積分器の入出力波形